

# 事業報告書

1 支援団体名	(社)土木学会建設マネジメント委員会 九州地域シンポジウム実行委員会
2 事業名称	九州地方における公共事業・公共調達に関するシンポジウム ～これからの地方における社会基盤整備のあり方を考える～
3 実施日時	平成22年11月11日(木)10:00～16:30
4 実施場所	福岡市 アクロス福岡 国際会議場
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容) *できるだけ詳細に</p> <p>■午前の部(10:15～12:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地方整備局の公共調達における現状と取り組み状況の紹介</li> <li>・福岡県、久留米市の公共調達における現状と今後の方向性についての紹介</li> <li>・ゼネコン、地場ゼネコンの現状と要望</li> <li>・建設コンサルタントの現状と要望</li> </ul> <p>■午後の部(13:00～16:30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演(大石 久和氏、(財)国土技術研究センター理事長)</li> <li>・公契約にもとづく公共調達基本条例についての話題提供</li> <li>・パネルディスカッション(パネラー7名)</li> </ul> <p>公共調達における価格競争の問題点、地方における公共福祉、総合評価方式のあり方、今後の方向性について討論する。</p>
	<p>(事業実施効果)</p> <p>参加者に広く、公共調達の現状、今後の方向性を知っていただき、基調講演、パネルディスカッション等を通じて参加型のシンポジウムを実施することで、これからのよりよき公共事業の推進に寄与していただくことを期待する。</p>
6 参加内訳	総人数 305名
	(1) 主催者参加 15名
	(2) 日本人参加 ((1)を除く) 290名
	(3) 外国人参加 ((1)を除く) 名
7 今後の方針	“九州地方における公共事業・公共調達に関するシンポジウム”の開催結果を、今後定期的に開催される小委員会に反映し、公共事業、公共調達に関する動向の把握、情報収集を実施していく。

## 九州地方における公共事業・公共調達に関するシンポジウム



開会挨拶  
(小澤 一雄：(社)土木学会  
建設マネジメント委員会委員長)



シンポジウム参加者  
(約 400 名)



九州地方整備局の現状と取組み  
(後田 徹：九州地方整備局企画部  
技術開発調整官)



福岡県の現状と今後の方向性  
(義経 俊二：福岡県県土整備部  
企画交通課技術調査室長)



市町村の現状と今後の方向性  
(大熊 英敬：久留米市役所  
契約監理室契約課長)



ゼネコンの現状と課題  
(山中 徹：(株)間組九州支店  
土木営業部部长)



地場ゼネコンの現状と課題  
(青嶋 寿雄：(株)西海建設営業部長)



建設コンサルタントの現状と課題  
(山本 洋一：(社)建設コンサルタンツ  
協会九州支部長)



基調講演  
 (大石 久和：早稲田大学大学院  
 公共経営研究科客員教授)



公共調達基本条例について  
 (深津 康二：東京都江戸川区  
 総務部用地経理課長)



パネルディスカッション  
 (これからの地方における社会基盤整備と公共調達のあり方について)

- 牧角 龍憲 (九州共立大学工学部教授)
- 大石 久和 (早稲田大学大学院公共経営研究科客員教授)
- 深津 康二 (東京都江戸川区総務部用地経理課長)
- 清水 亨 (九州地方整備局企画部長)
- 大熊 英敬 (久留米市役所契約監理室契約課長)
- 中西 隆夫 (前田建設工業(株)九州支店土木部土木施工グループ長)
- 青嶋 寿雄 (㈱西海建設営業部長)
- 福山 俊弘 (㈱福山コンサルタント常務取締役)